

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 15 回会合議案

日時：2011 年 9 月 24 日(土)10:00-12:00

場所：市民活動センター

欠席：矢澤、寺門

議題：

- (1) 報告（経過、その他）
- (2) 協議
- (3) その他
- (4) 第 3 回編集委員会

(1) 報告

①経過報告

- 8 月 20 日 (土) 第 14 回実行委員会、第 2 回編集委員会
- 9 月 14 日 (水) 学研労協へ協力依頼 (原田)
- 9 月 23 日 (金) 執筆依頼、第 1 回郵送
- 9 月 24 日 (土) 第 15 回実行委員会、第 3 回編集委員会

②編集委員会報告

(2) 協議

①執筆者選定方針の確認

執筆者の依頼にあたっては、議員・政党関係者であっても、その分野の執筆者としてふさわしければ依頼できることを再度確認したい。

②中間発表会

11～12 月に重要な項目について内容を紹介し、意見交換を行う中間発表会を開催する予定である。これは、白書が編集中であることをつくば市民に知らせることと重要な項目について市民の意見を聞くことが目的である。

・時期：11/3 (木)、5, 6 (土、日)、12, 13 (土、日) 19, 20 (土、日)、23 (水)、26, 27 (土、日)、12/3, 4 (土、日)、10, 11 (土、日) 17, 18 (土、日) 23 (金)、24, 25 (土、日)

・場所：市民活動センター

・13:00-17:00 (4 時間)

・全体報告、個別報告、議論

(3) 第 3 回編集委員会

①執筆依頼文書、執筆要領の確認(9/23 郵送)

②依頼状況

- ・依頼状況報告
- ・新規確定項目

③コラム執筆依頼の検討

(別紙依頼文)

④追加項目の検討

- ・放射能汚染の章の新設
- ・教育と文化の章の、「文化」の項の検討

・追加項目案

- | | | |
|------|-------------|------|
| 3-10 | 地域福祉計画を読み込む | 宮本次郎 |
| 4-10 | 高齢者と交通問題 | 宮本次郎 |

⑤編集担当者と執筆者との交渉

執筆依頼は事務局が行うが、そのあとは編集担当者が連絡をとっていただきたい。

⑥その他

(酒井氏の提案)

・つくば市とのインタラクションがある部分の論文の構成についての提案

1. 問題提起
 2. 解決策
 3. つくば市との交渉 (結果)
 4. つくば市政も含めた提言 (提案)
- ・白書のサブタイトル:「財政難と官僚制〔性?〕を超えて」

(寺門氏の提案)

・「文化」の項の執筆者探しをお願いしたい

(原田提案)

- ・全体と各章に総論をつけたらどうか (編集委員会で作成)
- ・重要な項目で執筆者がいない場合、編集委員会で作成を検討したらどうか
 - ・インタビュー、調査
 - ・座談会(グループディスカッションのまとめ)
- ・2008年版の問題提起の達成状況をまとめたらどうか (第14回(8.24)資料参照)

(4) その他

(5) 次回第16回実行委員会、第4回編集委員会

10/15 (土), 16 (日) 10/22(土), 23(日) 10月29(土), 30(日)

(別紙1：第14回実行委員会まとめ)

つくば市民白書 2012 実行委員会
第14回会合・第2回編集委員会まとめ

日時：2011年8月20日(土)14:00-17:00

場所：市民活動センター

出席者：河村、山本、亀山、安田、緒方、横井、酒井、野口、原田

議題：

- (1) 報告(経過、その他)
- (2) 協議
- (3) 第2回編集委員会

(1) 報告

①経過報告

7月23日(土)第12回実行委員会の後、特に活動はなかった。茨城労連への訪問は9月の予定。

(2) 協議

実行委員会としての協議事項はなし。

(3) 第2回編集委員会

引き続き第2回編集委員会を開催した。

①執筆要領など

編集長と事務局長で以下の修正を行うことで執筆依頼文、執筆要領案を承認した。

- ・文字サイズ10ポイント、1行22文字、40行(1ページ1760字)とする。
- ・タイトル下に右寄せで執筆者名(カッコ内に所属)を記入する。
- ・日付は2011年9月1日とする。

②執筆依頼文書送付

編集長と事務局長の修正が終了したら、事務局長は確定した執筆者に対して郵便で執筆依頼文、執筆要領、目次案、見本などを送付する。

②目次案、執筆依頼者案

各省担当編集委員より出された目次と執筆依頼予定者案を検討して別紙のタイトル、執筆者依頼一覧(2011.08.20第2回編集委員会)をまとめた。主な議論と変更箇所は以下の通りである。

1. 市政と議会

- ・「公民館」は「4. 教育と文化」に移動する。
- ・緒方氏に「憲法と地方主権」に関する執筆を検討してもらう。

2. 財政

亀山氏がまとめて執筆する。茨城労連に執筆依頼を行う内容については亀山氏が判断する。

3. 医療と福祉

横井氏より出された項目、執筆者案をほぼ了承した。

・「障害者自立支援」の執筆者としてつくば自立支援センター「ほにゃら」と児玉正文氏が推薦された。横井と野口で検討する。

4. 教育と文化

寺門氏の提案をほぼ了承した。

- ・「4. 親から見たつくば市の教育問題」は書けないとのことで削除する。
- ・「8. 学校敷地の放射能管理」は、高教組が行っている。「環境」の章が適当かもしれない。(「放射能問題」の章で後述)
- ・「9. 公民館」で執筆者に上がっている「変えなきゃつくば」はHPに河村の意見が載っているだけで活動はないとの意見があり、また横井氏が資料を持っているとのことで、寺門氏に検討し

てもらうことになった。

・「10. 男女共同参画」について、前回執筆者の長田氏にその後の展開を依頼したらどうかとの意見があり、寺門氏に検討してもらうことになった。

5. まちづくり

河村氏の提案をほぼ了承した。

- ・「1. TX 沿線開発」は執筆者の酒井氏が了承した。
- ・「5. 公務員宿舎跡地利用」は削除する。
- ・「7. 水道料金」の執筆者は、河村が再検討する。
- ・「8. 地域の防犯活動」は削除する。

6. 環境

矢澤氏の提案をほぼ了承した。

- ・「発見地図づくり」「市内路線バス網」「花と緑のまちづくり」は「5. まちづくり」に移動する。
- ・「農と人をつなぐ」「オーガニックファーマーズヴィレッジ」は「7. 産業」の移動する。

7. 産業

原田氏が提案未提出のため、議論せず。

8. 観光

早川氏の提案をほぼ了承した。

9. 科学技術と平和

担当を学研労協に依頼することになり、事務局長が交渉することになった。

- ・「つくば市内研究機関の災害対策研究」「ロボットのまちつくばと産官学連携」の2項目を学研労協に依頼する。
- ・「2. 福島原発事故とつくば市の対応」の執筆者はさらに検討する。
- ・谷田部飛行場について、根崎氏（つくば工科高校）に執筆依頼する。

③その他

・福島原発事故と放射能汚染について目次案にも各章で取り上げられているが、市民の関心も高く、新たに章を作りまとめたらどうかという意見が出され、次回検討することとなった。

(4) 次回第15回実行委員会、第3回編集委員会
9/24 (土) 10:00-12:00 市民活動センター
(以上)

2011年9月23日

様

つくば市民白書 2012 実行委員
会
編集委員長 山本 千秋

「つくば市民白書 2012」のコラム「よりよい市政へ 私の一言」
の原稿依頼について

つくば市では、研究学園駅近くに新庁舎が開設され、TX4駅を中心に沿線開発が進み、また、地方自治体の憲法といわれる自治基本条例の制定事業が進行中です。

「つくば市民白書 2012」実行委員会は、3回目の市民白書発行をめざして昨年春から準備を進めてきました。

白書発行の目的は、「つくば市の広範な行政分野について現状・問題点・今後の課題を市民の立場から調査分析して冊子にまとめ、広く市民に知らせ、市民による政策要求や政策提言の運動に役立てる」ところにあります。

現在、9章、50項目前後のテーマを掲げ、テーマにふさわしい執筆者の依頼を続けながら、確定した方には、順次、執筆を進めていただいています。

実行委員会では、前回好評を得ましたので、2012年版白書にも表題のコラムを掲載することとしました（参考のため、2008年版白書の目次を同封します）。

つきましては、どのようなテーマでも結構ですので、よりよい市政のために、ご自身の日ごろの思いをご執筆いただきたくお願い申し上げます。

簡単な表題を付けて下さい。字数は原則として700字以内とします。ワープロでの作成が望ましいですが、手書き、Eメールでも結構です。

ご多忙のところ、大変恐縮には存じますが、「市民白書」の目的をご理解いただき、玉稿を賜りますよう重ねてお願いいたします。

なお、白書の仕上がりは、2012年4月を予定しています。

●原稿の提出期限： 2011年12月15日（木） 依頼が遅れた場合は相談いたします。

●原稿の送付先及び実行委員会への連絡・問い合わせ先

原田 泰（つくば市民白書 2012 実行委員会 事務局長）

〒305-0061 つくば市稲荷前 24-22

TEL. 029-855-2752 電子メールアドレス tharada@japan.email.ne.jp

章	項目	枚数	頁	執筆者 (未確定)	執筆者(確定)
推薦のことば		2	2		
刊行にあたって		2	4	河村俊次	
目次		1	5		
			5		
1 市政と議会 (担当編集委員:野口修)			5		
1 自治基本条例		6	11		野口修
2 憲法から見た地方分権、地方主権		2	13	緒方章宏	
3 行政組織に関する組織、運営問題		2	15	(市職労)	
4 つくば市の議会の問題		2	17		
5 風車問題パート2 (高裁判決から最高裁の棄却判決まで)		10	27		河村俊次
6 行政への市民参加とパブリックコメント制度の検証		2	29		野崎浩司
			29		
2 財政 (担当編集委員:亀山大二郎)			29		
1 つくば市の財政問題		10	39		亀山大二郎
			39		
3 医療と福祉 (担当編集委員:横井美喜代)			39		
1 国民健康保険税		2	41		永田尚人
2 障害児・障害者・虚弱高齢者の問題		2	43		渡辺隆生
3 学童保育・児童館		2	45	(つくば市学童保育連絡協議会)	
4 子育て支援		2	47	(かるがもネット)	
5 介護保険		2	49		
6 市立病院		2	51	つくば市医師会	
7 新保育システム		2	53		
8 障害者自立支援		2	55		児玉正文
9 障害者自立支援		2	57	(つくば自立生活センターほにゃら)	
10 地域福祉計画を読み込む		6	63		宮本次郎
			63		
4 教育と文化 (担当編集委員:寺門宏倫)			63		
1 小中学校から見たつくば市の教育問題		2	65	(検討中)	
2 高等学校から見たつくば市の教育問題		2	67		岡野一男(高教組)
3 教育センターから見たつくば市の教育問題		2	69		穂積妙子
4 特別支援学校から見たつくば市の教育問題		2	71		寺門宏倫
5 小中一貫教育と学校統廃合について		2	73		浅野洋子
6 学校給食の大型化について		2	75	(安全な学校給食を考える会)	
7 つくば市の学校敷地内の放射線放射能(仮題)		2	77		塚田良夫
8 文化行政公民館の地域交流センター化		2	79	(再検討)	
9 男女共同参画社会		2	81	(長田満江)	
			81		

5 まちづくり (担当編集委員:河村俊次)		81	
1 TX 沿線開発	10	91	酒井泉
2 高齢化・過疎化する地域の問題点	2	93	小川矩宏
3 自転車のまちとつくばの道路問題	2	95	矢作榮一
4 地域コミュニティ	2	97	野口修
5 地域・広域防災対策とつくば行政	2	99	高松邦夫
6 水道料金値下げ運動と議会対応	2	101	(再検討)
7 歩いて発見地図づくり	2	103	江口肇
8 市内路線バス網の再編—つくバスとつくタクの検証	2	105	
9 花と緑のまちづくりの取り組み	2	107	井口百合香
10 高齢者と交通問題	2	109	宮本次郎
		109	
6 環境 (担当編集委員:矢澤容子)		109	
1 つくば環境スタイルと低炭素社会づくり	6	115	
2 二酸化窒素測定運動	2	117	安田早苗
3 環境行政	2	119	
4 小中高における環境教育の取り組み—竹園高校環境カルタ	2	121	(竹園高校)
5 一人一環境協力宣言 (我が家のエコ宣言)	2	123	宮澤伸一
6 つくばエコライフ活動—レジ袋削減、エコバッグの取り組み	2	125	宮澤伸一
7 エコドライブの啓発と効果	2	127	(削除)
8 グリーンバンク制度の検証	2	129	未定
9 廃食用油リサイクルの可能性	2	131	未定
10 森林ボランティアの活動の推進	2	133	(田中ひとみ)
		133	
		133	
		133	
		133	
		133	
7 産業 (担当編集委員:原田泰)		133	
1 つくば市の産業	6	139	原田泰
2 農と人をつなぐユートピアの取り組み	2	141	柳瀬敬
3 オーガニックファーマーズヴィレッジのとりくみ	2	143	(柴原新一郎)
4 商業	2	145	
5 工業	2	147	
6 産業振興	2	149	
		149	
8 観光 (担当編集委員:早川公)		149	
1 つくば市観光の現状と課題	4	153	早川公
2 商店街の活性化と観光の関わり—北条商店街の取り組みから	2	155	坂入英幸
3 自転車 (サイクリスト) と観光	2	157	有野真由美
4 グリーンツーリズムの可能性と諸課題—体験農園の事例から	2	159	戸田なりたか
5 PR の観点からみたつくば市観光の問題 1—情	2	161	笹沼誠

	報の発信と共有について			
6	PRの観点からみたつくば市観光の問題 2—観光客は何を目当てにつくばに来るか	2	163	野末たく二
			163	
9	科学技術と平和 (担当編集委員:学研労協)		163	
1	科学技術都市としての環境整備とまちづくり	2	165	(学研労協)
2	ロボットの町つくばと産官学連携	2	167	(学研労協)
3	福島原発事故とつくば市の対応	2	169	田中サエ
4	平和問題に対する市民活動とつくば市の平和事業	2	171	樋田幸夫
5	谷田部飛行場	2	173	(根崎、つくば工科高校)
			173	
	(「放射能問題」を章として立てるか、検討する)		173	
			173	
コラム	よりよい市政へ 私のひと言		173	
1	地域の生活サポート活動	1	174	田口孝
2	地域活動としてのアダプト・ア・パークのとりくみ	1	175	飛沢
			175	
実行委員会	白書発行の経過、委員名簿など	3	178	
あとがき	あとがき—編集チームから	1	179	